

人口と世帯

52.10.1現在

(前月比)

男 5,755人 (+2)

女 6,088人 (+1)

計11,843人 (+3)

世帯数2,757 (-1)

みくに報

発行 / 国見町役場

編集 / 企画課

福島県伊達郡国見町

大字藤田字一丁田二

2ノ1 ☎969-17

電話藤田(024585)211100

昭和52年10月15日

No. 52



'77

10月

----- おもな内容 -----

- 11億円はこう使われた……………2～3
(51年度決算報告)
- 交通安全町民大会
あの人この人……………4～5
- 公民館だより……………6～7
- ふるさとの歴史をさぐる……………8
- ヨーロッパの農業……………9
- 農業将来のビジョン……………10
- 住宅団地の分譲まちか……………11
- おしらせ……………12

100歳!

おめでとうございます

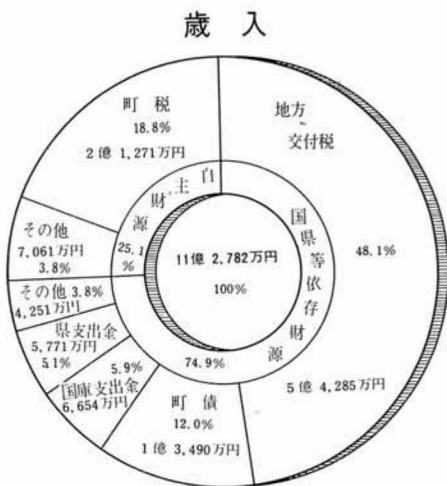
齋藤長三郎さん(森山字上彌町18の1)はさる10月2日 100歳の誕生日を迎えました。

長三郎さんはごとしの5月、宮城県柴田町から転入、娘さん夫婦の渡辺利治さんナツさんのところで元気に過ごしております。

この日は、赤い帽子に赤いちゃんこをはおり、お祝いにかけつけた松平知事や佐藤町長など多くの人たちとともに長寿を祝いました。

こう使われた

財政を公表



歳入

昭和五十一年度の歳入決算額は十一億二千七百八十二万円で、前

一方、自主財源は町が自ら生み

昭和五十一年度の一般会計と特別会計の決算が、九月の定例議会で認定されました。わたしたちが納めた税金はどんな役割をはたし、どのように使われているのでしょうか。ここでは主に一般会計の使いみちについてお知らせいたします。

年度より一億八千七百七十六万円多い、二〇%の伸びとなりました。主な財源は何といっても地方交付税で全体の半分を占め、ついで町税(一八・八%)町債(一一・〇%)国庫支出金(五・九%)の順となっています。歳入を大きく分けると依存財源と自主財源に分けられます。依存財源とは、町が仕事を続けて行くために町の収入で足りないとき国や県にたよるもので、わが町ではこの依存財源が七四・九%もあります。

歳出

昭和五十一年度のわが国の経済はようやく上向きになり、先行きにわずかの光明が見えてきました。が、町財政をとりまく環境は依然として厳しい状況下におかれまして。しかしながらこのようなかで町

は税の完全徴収をはじめ財源の確保に努めるとともに住民の生活関連事業を重点的に実施し、反面、経費の節約に努め、健全財政を維持することができました。各部門における成果は次のようになります。



総務費

- 町史編さん事業(第1巻発行)..... 1,206万円
- 交通安全施設(街灯、防護柵、カーブミラー) 452万円
- 電話交換機設備一式..... 273万円
- 新幹線トンネル掘削に伴う湯水対策調査委託料 210万円
- 生活バス路線維持補助費(梁川貝田線)..... 143万円
- 町税計算センター委託事業..... 140万円

民生費

- 重度心身障害者医療給付..... 258万円
- 敬老祝金交付(80歳以上)..... 103万円
- 老人家庭奉仕員..... 115万円
- 老人医療10割給付..... 4,594万円
- 季節保育所開設..... 805万円
- 老人ホーム組合負担金..... 116万円
- 児童手当交付金..... 1,957万円

衛生費

- ・成人病検診等委託事業…………… 133万円
- ・公立藤田総合病院組合負担金 2,204万円
- ・結核検診事業…………… 144万円
- ・伊達地方衛生処理組合負担金…2,765万円

労働費

- ・労働者、金融対策預託…………… 200万円

農林水産業費

- ・伊達西部農業基盤整備協議会負担金 794万円
- ・農協会館建設補助金…………… 500万円
- ・農業就業改善対策事業補助金 (スビードスプレヤー) …… 217万円
- ・畜産振興事業補助金…………… 118万円
- ・泉田善蔵地内水路架橋工事…………… 153万円
- ・徳江二階間々地内排水路工事…………… 151万円
- ・光明寺地内用排水路工事…………… 542万円
- ・小畑線林道開設事業…………… 1,900万円
- ・鳥取線林道開設事業…………… 1,425万円
- ・桑折町国見町有北山組合特別負担金 146万円
- ・財産区繰出金…………… 27万円

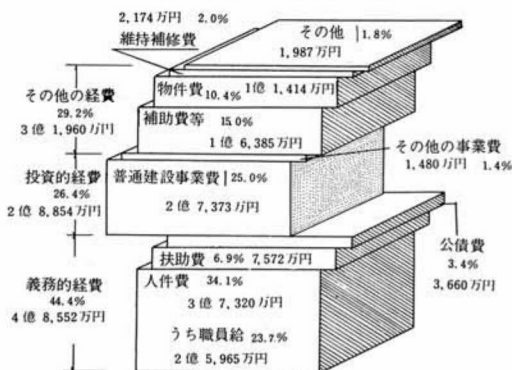
商工費

- ・商工会振興費補助金…………… 300万円
- ・中小企業振興対策預託金…………… 800万円

土木費

- ・宮北地内オーバーレン舗装工事…………… 510万円
- ・徳江親郷地内水路工事…………… 120万円
- ・町内舗装修繕工事…………… 260万円
- ・町道補修資材 (砂利、ヒューム管) 420万円
- ・三町土木機械運営協議会負担金…………… 136万円
- ・内谷西堂線町道改良工事…………… 1,035万円
- ・内谷小坂線町道改良工事…………… 1,240万円
- ・川内元寺西線町道改良工事…………… 930万円
- ・鶴町中沢線町道改良工事…………… 230万円

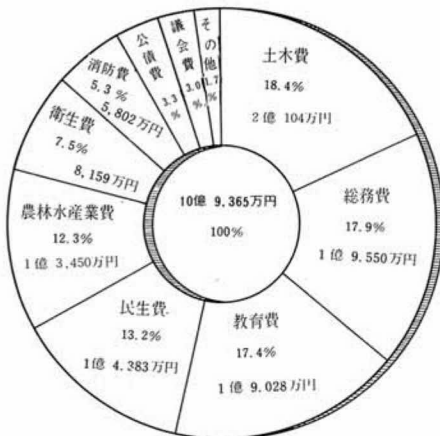
性質別に見た歳出



11億円は

昭和51年度 町の

歳出



- ・宮前沢田線舗装改良工事…………… 510万円
- ・小坂上前田線町道改良工事…………… 970万円
- ・鳥取水無線町道改良工事…………… 1,044万円
- ・古鹿島線町道改良舗装工事…………… 1,263万円
- ・貝田町裏線町道改良舗装工事…………… 460万円
- ・西大枝竹の内線町道改良工事…………… 686万円
- ・道路台帳作成委託料…………… 410万円

消防費

- ・伊達地方消防組合負担金…………… 3,703万円
- ・消防ポンプ自動車…………… 500万円

教育費

- ・森江野小学校校庭用地代…………… 1,300万円
- ・藤田幼稚園遊戯室建築工事…………… 1,223万円
- ・三町学校給食センター協議会負担金 1,212万円
- ・原溜権利消滅補償金…………… 900万円
- ・県北中学校校庭用地代…………… 391万円
- ・各小学校教材用備品購入費…………… 298万円
- ・大枝小学校組合負担金…………… 254万円
- ・小中学校管理警備委託料…………… 246万円
- ・県北中学校七教室床張替工事…………… 239万円
- ・公民館図書購入…………… 132万円
- ・各小学校校舎維持補修費…………… 177万円

悲しみを繰り返すな

交通安全町民大会

交通事故ゼロへの願いをこめて
第二回国見町桑折町交通安全町民
大会が、さる十月一日町民体育館
で行われました。

これは、両町、および桑折警察
署、交通安全母の会などが主催し、
悲しい事故を少しでも減らすよう
に、協力して運動を展開していこ
うというものです。

さわやかな秋晴れにめぐまれた
この日、小学生からお年寄りまで
両町から七百名が参加、宇佐美安
全副支部長の開会のことばに続いて、
全員が立ち上がり、交通安全事故

犠牲者に対する黙とうをささげま
した。そして、大会会長である国
見町長、副会長の桑折町長などの
あいさつ、あつと表彰式に移り、わ
が町からは村上嘉一さん（山崎）
藤田小学校、国見町ライオンスク
ラブ、株式会社陸商會、公立藤田
総合病院が交通安全の協力者とし
て表彰されました。

さらに、国見町交通指導員の佐
藤正康さんが民間交通指導の立場
から、藤田小五年の市川多美子さ
んが交通安全家族の立場からなど、
交通安全事故防止への提言を発表し、



⑥

（失礼！）しかも現役でやってい
るのは例がない。

スキーを始めたそもその動機
は、からだ力が弱かったからだとい
う。「高等学校を三年で卒業でき
るところ六年かかった。スキーを
始めたのは二十二三歳のころか
な」。以来五十年間滑り続けてき
た。

「去年の大みそかは家において夫
婦で年をとったけど、それが何十
年ぶりかのことですよ。」「今で
こそ家内は何も言わないけど、昔
はよく靴をかくされましたっけ、
ワハハハ……」。そばにいる奥さ

国見町体育協会会長

佐藤元一さん

時に吹雪の



第二回国見町桑折町交通安全町民大会

人々の胸にきざみこまれました。

そして、大会宣言を満場一致で
決議し、事故ゼロへの誓いをあら
たにしました。

最後に、ママさんコーラスや県
北中プラスバンドのアトラクショ
ンもあり、盛大のうちに幕が閉じ
られました。

なお、来年度（第三回）は桑折
町で開催されます。

交通事故が

おきないよう

藤田小五年

市川多美子

わたしのお父さんは、わたし
二つのときに交通事故でなくなり
ました。それは、昭和四十四年春
の出来事でした。

お父さんは、ある日「ちよつと
出かけてくる」と言ってバイクで
出かけて行ったそうです。その日
お父さんは、夜の二飯になって
帰ってこなかったそうです。

お父さんの事故は、わたしはわ
むついている間におきました。酒飲
み運転をして、トラクタとしま
つたのです。

わたしは、目がさめてからおか
あさんにつれていかれ、なくなつ
たお父さんのところへ行きました。
なにもしらないわたしは、お父さ
んがねていたと思ったのでし
ょう。

「父ちゃん、二飯だからおきろ
」と言ったそうです。しかし、お父
さんはなにも言いませんでした。

わたしは今、お父さんが生きて
いたらどんなだろうな、などと考
えることがあります。そんなこと
を考えていると、交通事故がに
くくなります。

交通事故などなければお父さん
も生きていたかもしれない、そう
思うといつそうにふかくなります。

しかし、事故にあうのは大人の
油断もあるのではないかと考えま
す。

新聞やニュースで交通事故のこ
とを知らせてあります。世の
中には酒飲み運転をふくめてルー
ルいはんがたさんあります。そ
んな時、わたしは大人の人が交通
事故を防ぐのはその人の心がけ

国見町体育協会は、地区スポー
ツ振興会、スポーツ少年団、各運
動部の三つを柱に、昭和四十六
年三月に発足した。佐藤元一さん
（大字小坂字小坂27）はその発足
と同時に会長に就任、町のいろい
ろなスポーツ大会や講習会などを
催し、だれでも気軽に楽しみなが
らからだを鍛えられるように、ス
ポーツの振興と普及に力を入れて
いる。発足以前は、町体育指導委
員として国見町成立当時から活躍、
残した功績は大きい。

しかしながら、何と言っても、
スキーを語らずしてこの人を語る
ことはできない。

現在、郡内でもただ一人の全日
本スキー連盟公認指導員。
全国でも、七十三歳という高齢で

節約セツちゃん



中で、酷寒の中で……、それでも矢も楯もたまず出かけて行く。「ただ好きなだけ」とおっしゃるが、小柄なからだのどこにそのエネルギーがあるかと思うほど、スキーにかけける情熱はすさまじい。「一番の思い出は体育功労者として文部大臣から表彰されたこと。」

突然、何の前ぶれもなく知らされてビックリ。昭和三十七年のことである。金沢での受賞式には奥さんともに出向いたそうだ。ところで、公認指導員とは二年ごと講習を受けないと資格が消滅してしまいが、佐藤さんは毎年参加し、新しい技術の研究と習得に

努力を惜しまない。佐藤さんに教わった人はもう万単位になるといふ。四年前ヨーロッパに行つて滑つてきた。アルプス山脈のモンブラン、マッターホルンなど四千メートル級の頂(いただき)からの滑走——とにかくスケールが違う。しかも雪は粉雪で最高、そして暖流の関係とかで寒さはあまり感じない。同行者がかかった高山病にもならず元気に滑つてきた。夏は農業にいそしみ、雪のたよりとともに出かけて行く。——。老いることを知らない永遠の青年、佐藤元一さんである。奥さんのチヨさんと二人暮らし。明治二十七年二月十四日生まれ。



第 8 号 と思います。

スピードはいらんだって、べつにきそくをやぶつてまで急ぐ用でもないと思われ、また、酒飲み運転だつて家に帰つてから飲めるのではないかと思ひます。

大人の、一人一人が注意し、また、きそくをきちんと守つて運転する世の中にかわれば、交通事故など一つもおこらない、とてもいい世の中になると思ひます。わたしも、道路にとび出して遊

町史購入予約

申込みについて

町史編さん室

国見町史第一巻(通史編)が完成して近く配本になりますが、まだと得がない「お家の宝」「郷土の歴史」を買いもらしないようもう一度よく考え見ましよう。大型割引の特典のあるこの予約制をぜひ生かしてください。

これまで第二・三・四巻を買われた方および最初に第一巻だけを申込まれた方は、全部予約者としてその名簿を各部落長さんに届けてあります。その他の方で新たに購入希望または部数変更の方は、この際部落長さんに申込んで名簿に記載してもらいましよう。

申込期限 十一月十日
配本期間 十二月中

2時から4時がコソ泥アワー

被害にあったら 110番へ

万一、あき果などの被害にあつたら、犯行現場はそのままにして110番してください。現場のおずかな手がかりが事件の解決に役立ちます。



んだ、自転車でスピードを出したりはしません。わたしは、お父さんのようなことにならないように、きそくを守つて、命を大切にしていきたいと思ひます。(勝手ながら一部割愛させていただきます)



国見町公民館
電話 2676
4156

町民学校へ入りませんか

第八回町民学校を十一月から開校いたします。

安い経費で趣味と実益を兼ね、気軽に受けられる町民学校は毎回大好評で、多くの人たちが受講しています。

思わぬところから自分の能力が発見できるかもしれません。また、これがきっかけとなって自分の世界がひろげられるかもしれません。

今回は、新たな三つの科目(心理学入門、鍋料理、ペン習字入門)と、人気の高い社交ダンスが再び登場いたしました。

希望者は、左記の要領で早めに申し込んで下さい。

○受講料 無料(材料費は負担)

○受講資格 国見町民ならびに町内に勤務している方

○申込期間 十月三十一日。ただし定員が締切り

○その他 くわしくは公民館へ

第一コース(月曜日)
2676(南)4156

◎心理学入門

講師 福島大学助教授 菊池章夫
内容 他人を理解する手がかり、気持の伝え方、伝わり方、グループとは何か

定員 三十名

期間 十一月七日～十二月五日

◎鍋料理

講師 栄養技士 杉崎一江
内容 栄養価の高い、寒さを防ぐあつあつ料理

定員 二十名

期間 十一月八日～十二月十三日

※材料費二五〇円実費負担

◎第二コース(金曜日)

◎ペン習字入門
講師 桑折町立半田藤芳小学校

内容 美しい文章の手ほどき

定員 二十名

期間 十一月十一日～十二月九日

※エンピツ、ボールペン、下敷き持参

9月の利用者

センター 1,881人
体育館 3,652人



◎第四コース(金曜日)

◎社交ダンス入門

講師 福島ポール・ルームダンス・クラブ
内容 ダンスの基本と作法

定員 三十名(男女各十五名)
期間 十一月四日～十二月十三日



中央婦人学級だより

平泉へ研修旅行

委員長 高木光子

空には赤トンボが舞い、稲が色づき始めた九月二日、中央婦人学級の平泉・中尊寺研修旅行が行われた。

心と心の触れ合いを高め、協調性を養い、より以上の親睦をはずる大に参加者が少なく、クラブや各団体の協力を頼んで集まった四十一名は、早朝六時役場前を出発しました。

みんなで歌おう 国見町婦人学級の歌

作詞 福村忠男
作曲 福村忠男



一希望に燃ゆる歌声は 二歴史は回る幾星霜
厚樫山にこだまして 親母台の水清く 三明かるい家庭町づくり
夢は広がる青空に 父母の愛受け継いで 民主のモラル打ち樹て
女の道を突めゆく 次代の子等を育くまん 平和な社会願いつつ
国見の園に芽は萌ゆる 国見の園に風薫る 国見の園に花開く

厳美浜を経て、藤原基衡が建立したといわれる毛越寺に着きました。学級生は本尊薬師如来に手を合わせ、太い杉の並木が昔の芝を語りかけてくるような庭園の芝生を踏しめて歩きまわりました。そして千年の幻像の中に心さまよわない人はいないほどに美しくもあわれみをつららせる芭蕉の句「夏草やつわものどもが夢のあと」を心の中で読み返し、中尊寺に向かいました。

中尊寺本坊の本堂にお参りし金色堂へ進みました。金色堂は、藤原清衡公が十六年の歳月を費やして苦心の上完成しただけであつた。

平泉中尊寺を後に車中の人となり、すばらしかった思い出を胸に残し、全員無事に有意義な研修旅行の幕を閉じました。

明治学級たより

新潟弥彦への旅

明治学級は、去る九月五日、六日新潟県弥彦村へ、藤田委員長以下四十三名で研修旅行を実施した。五日午前六時半、役場を出発、郡山から49号線を西に最初の見学地、会津坂下町の立木観音を参拝。



▲田子倉ダムで、はいパチリ

和様建築で鎌倉時代建築の特色を見た観音堂の中に、二丈八尺の一木彫の千手観音の圧倒するようなお姿を拝見した。万願成就の信仰があつい抱きつき柱に抱きついて心願する学級生の姿もちらほら。柳津虚空蔵尊に参拝後、252号線を見見川に添って一路田子倉ダムへ。田子倉湖は、浅草岳をはじめとする奥只見の山々を静かにその広い湖面に映していた。地下にある発電所は日本一の発電量を誇るというが、

このかげに、豪雪の厳しい冬と開くこの地方の生活があることを伺い知ることまでできないくらい穏やかな風景である。越後一の宮として古くから信仰の厚い弥彦神社へは、夕陽が弥彦山に沈まんとするころに着いた。千古の巨杉

の間から漏れる夕陽を浴びながら一同それぞれに思いをこめて参拝した。

その日の宿はホテルみやのや。研修は、九十歳の松浦金助さんが六十代の「若者」を圧倒する声量豊かな喉を披露、それに花を添える阿部祥子さんの踊りなどで賑やかに終え、一日の疲れを弥彦温泉の湯に癒(いや)した。

翌日は弥彦ドライブウェイを通り山頂レストハウスへ。ここで一回同転パノラマタワーに乗り、海拔六百メートルの上空から広大な越後平野を東に、西には波静かな日本海を臨む、そして、視界のよい日なら指呼の間に横たわる佐土ヶ島は、かすかにその姿を見せて三百六十度の大展望台を一同楽

しんだ。

弥彦山を下り、越後七浜シードラインをバスは海の香を吸いながら新潟市へ。白山神社参拝後、駅前にて昼食。孫らの土産物で一杯になったバスは国道七号線を北上、やや疲れがみえたが、一行うたた寝するうちに関川村渡辺邸に到着。しかし、残念にも休館日で見学できず、またの機会を楽しみにして米沢に向かう。

梅替尼ミイラ仏をお参りして市内を抜けるころは、帰路の気持ちで心も軽く、民謡、歌謡曲など次々飛び出し再び賑やかなバスとなる。夕方六時ごろ役場に到着、好天に恵まれた一泊二日の旅は、それぞれに想い出を残し無事終了した。(高橋記)

あつがし俳句会

九月二十四日

- * 千人の中の一りや敬老会
- * 野ばたんのこぼれて艶の可愛しけり
- * 浅間山秋野福引き嶺高し
- * 母の手の太きにあまえ赤とんぼ
- * 枕べに何やら落ちて台風来
- * 台風のそれて安どの果実畑
- * 灯を消して月にのまる、山の駅

- 奥山 甲二
- 熊田 一陽
- 野村たかし
- 藤田 勝衛
- 加藤 痴仏
- 須田 泰山
- 佐久間山月

- * 靴重く尋ねあぐねて霧深し
- * 秋海棠寺の家作に三十年
- * 身に沁むよ老を病む友咳込めば
- * しづけさやち、ろが囲むひなの宿
- * 上州路分福茶釜秋すだれ
- * 台風や失職の身を吹きさらす
- * 保線区の終夜を灯し台風来
- * 曼珠沙草首すじ細き遺子なりき
- * 秋草やおとろひ給ひ母の足

- 奥山 雨田
- 小野寺萬水
- 阿部 亭司
- 阿部しげを
- 佐藤 国樞
- 角田 昭子
- 羽賀 えい
- 赤間はる子
- 森田 栄子



- (明治学級)
 - ・10月27日(木) 秋保温泉日帰り旅行
 - (中央婦人学級)
 - ・10月25日(火) 野外活動芋煮会(茂庭)
 - (青年学級)
 - ・10月27日(木) 交歓会
 - (さくらんぼ学級)
 - ・10月23日(日) 移動学習

財形貯蓄でマイホームを

住宅金融公庫より

住宅金融公庫では、本年度から財形住宅資金貸付制度（財形直接融資）を新たに設けました。

毎年少十万円以上の残高の増加があり、その合計額が五十万円以上ある者

この貸付けは、勤労者、財産形成促進法という法律に基づいて一定の財形貯蓄（この貯蓄は必ず勤労者の給料から天引きされる）を行った勤労者を対象にマイホーム資金を融資する制度で、ただ今申し込み受付中です。

④自分の勤務している会社等から毎年財形住宅資金融資額の一パーセント相当額の利子補給金や、住宅手当等を五年以上にあわたって受けることができる者



この制度は、比較的 low金利（五十二年十月以降金利年七・一三%）で、償還期間も長期（木造で十八年以内）で融資するしくみになっていますので、好都合な制度として歓迎されるものと期待しています。

融資を受けることができる住宅と土地

- ①一定基準以上の収入があり自分で住むための住宅を建設または購入する者
- ②国家公務員、地方公務員、国鉄電電公社、専売公社の職員以外の者
- ③三年以上継続して財形貯蓄をし

- △住宅を購入する場合
- ▽住宅を建設する場合
- ①公庫の床面積が：○平方メートル一六五平方メートル以下であること
- ②公庫の定める建設基準に適合しているもの
- △住宅を融資付く対象とする住宅であること
- ①公庫融資付く対象とする住宅の購入資金貸付の対象とする住宅であること
- ②①による住宅のほか、一戸当り床面積が公庫の定める基準に該当する住宅で、五十一年四月一日以降に竣工したものの

△土地を購入した（予定も）場合
昭和五十年四月一日以降に購入したもの（住宅資金の融資を受ける場合に限る）

借入申込み日現在の財形貯蓄残高の二倍に相当する額（二十万円が限度）

利率

七・一三%（変更の場合もある）
返済期間
木造十八年、耐火構造三十五年以内

返済方法

元金金等、毎月払いまたは毎

中世の西大枝郷における地頭と在家百姓

中

⑤ 菊池 利雄

月払いとボーナス払いの併用。その他
財形住宅資金貸付けを単独に利用することはもちろん、公庫の通常貸付けと併せて利用することも可能。また、年金被保険者住宅資金貸付と併せて利用することも可能

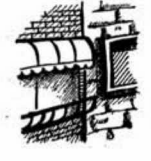
明らかでない。
「伊達正統世次考」によれば、天文の乱において本宗の伊予仲政大藏義政父子は初め種家に属したが、天文十二年五月、桑折景長を介して晴宗方に転じ、仲政は乱中において戦死をうけている。
種家方であった西大枝伊勢は、刈田郡越河郷、伊達郡岡郷（現伊達町）や、当町貝田の孫左衛門屋敷、寺屋敷（現在地不明）および隣郷森山の元木在家を、雅樂助は伊達郡堀ノ目（現東湯野）の居屋敷平地地の没収をうけている。
晴宗に属した西大枝掃部は、伊達五山の一つ、光明寺領であったむろのうら（諸川内か）在家は桐木八斗町の買地について安堵された。また、種家政権の家老であった国分太郎左衛門尉景廣は、所領が没収されて失脚し、居館釜谷館は西大枝源三に与えられている。

西大枝郷に内部した西大枝氏は、家譜によれば、室町時代の初め伊達宗隆・政宗の長井俊政に従い、下長井庄玉庭郷（現川西町）に所領を下賜され、この地に移ったとされている。

西大枝氏のよつた居館については明らかでないが、牛沢川東岸に所在する古館と思われる。
天文の乱頃「采地下賜録」によれば西大枝氏は本宗松平千代家のほか、庶流として西大枝伊勢、雅樂助、掃部、源三、龜千代、伯耆、右兵衛の八流が知られるが、本宗と庶流の系譜上の続柄については

【采地下賜録】によれば、本宗の松千代（駿河宗義）の所領には大枝の字や在家、大さうら、在家（現在地不明）、さかや、在家（根岸の佐藤益衛氏宅か）が知られる。また、松千代の祖父伊予仲政は、所領水口屋敷（菊地圭一氏宅）ととらう屋敷（所在地不明）を同族

西大枝氏については明らかでないが、牛沢川東岸に所在する古館と思われる。
天文の乱頃「采地下賜録」によれば西大枝氏は本宗松平千代家のほか、庶流として西大枝伊勢、雅樂助、掃部、源三、龜千代、伯耆、右兵衛の八流が知られるが、本宗と庶流の系譜上の続柄については



スポーツ



今回、私は県農業経営者海外派遣研修に参加し、八月二十五日から九月十日の十六日間、ヨーロッパ(フランス、西ドイツ、スイス、オランダ、デンマーク)五カ国を訪問し、農業情勢、一般社会情勢を視察研修して来た。

われわれの訪問したどの国々でも緑と古い建物が美しく調和されており、特にスイスでは、アルプスの山々と牧草地、家畜、建物とのコントラストが良く合っていた。また、建物の窓々には色彩豊かな花が飾られており「素晴らしい」の一言に尽きる。ドイツとて同じで緑地が整備されており「樹木一本切ったら二本植えよ」の国民性もあつたら美しく素晴らしい国

10月

- 10月 神無月(かんづつき)
- 18日・統計の日
- 23日・霜降・電信電話記念日
- 24日・国連の日
- 26日・原子力の日
- 27日・満月・読書週間

11月

- 11月 霜月(しもつき)
- 1日・自衛隊記念日・灯台記念日・教育文化週間
- 3日・文化の日
- 7日・立冬
- 8日・世界都市計画の日
- 11日・世界平和記念日

けい光灯も掃除を 読書には500ルクス以上の明るさが必要ですが、これは20ワットけい光灯の直下の明るさとかまた周囲も半分ぐらゐの明るさがないと目が疲れるといわれております。せめて1カ月に1回は電球を外し、乾いた布で汚れをとり、器具の反射面もきれいに拭き取って、秋の夜長の読書を楽しみたいものです。

ヨーロッパ・農業研修に参加して

徳江宇一 階間々村上 一 (29歳)

各国とも、地理的にも気候風土も異なるが、どの国も農業国で、自らの農業経営に誇りを持ち、厳しい農業情勢の中で前向きな姿勢で、農業に取り組んでいるのが感じられた。その中で、農機具利用にしても合理性を持ち、西ドイツでは農業機械銀行の組織がある、相互に利用し合い、利用できるものは二十年以上も三十年でも利用している。また、家畜を飼うにしても、土地の規模に応じて頭数が決まるのだから、畜産公害など起こらない。労働時間は、一日十四時間から十五時間働くそうである。その反面、五時間働くと、余暇には徹底してあり、われわれの訪問した農家などでは、キャンピングカーやボートなど一式そろ

ており、レジャーに出かけるとのことであった。また、オランダでの花き栽培農家での合理的経営と、株式による企業の経営には驚いた。相対的に感じたことだが、経営規模内容は違ふが技術の面では日本の方が優れているように感じられた。が、果実一つにとつて見かけより味に重点を置いており、見習う点が大いにある。

今回の研修で印象的だったのは東西ベルリンであった。壁一つで東、西に分断されており壁にして二重三重になって高圧線が張り巡らされ、壁の合間には自動発砲装置がある。われわれは検問所で物々しい警戒の中厳重にチェックされて東ベルリンに入り、トレフ塔公園などを見学してきたのだった。壁一つの隔りで、西ベルリンは華やかで活気があるが、共産国の東ベルリンでは生活も質素で静まりかえっており、今だに第二次大戦の傷跡があらこちに残っている。思想の違いによって歴史的に固定化された事実であり、厳しい現実である。

また、民宿での二日間は最も有意義な体験だった。私の行った農家は六人家族の家で、五十三ヘクタールの農地に主に小麦を栽培しており、また、肥育豚六百五十頭の経営をしていた。

初めはことばや生活が違うので戸惑ったが、手まねなどのゼスチャーや絵、数字を書き、ある時は現物を持って来てくれて説明してもらい、お互いどうにか通じ合うことができた。

短い期間ではあつたが、現地での実際の農業や生活に触れることができた。本当に貴重な経験であつた。



▲デンマークにて(右)

心配ごと相談日

場所: 役場車庫二階
時間: 9時~12時

こまったことや心配ごとがあり、ましたらお気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

(相談員)

- 10月25日(火) 吉田忠吉、牧野容子
- 11月5日(土) 菊地平助、斎藤ちや子
- 11月15日(火) 斎藤正、佐藤サイ
- 11月25日(金) 阿部俊恒、朝内ひで

農業 将来のビジョン

地域農政特別対策事業における 農業振興の推進活動

内容は二つに分かれています。一つは地域農政総合推進事業であり、二つは農用地管理事業です。まず第一に地域農政総合推進事業は、集落内のすべての住民の話し合いの中から、農業者自らの創意と工夫によって、地域農業の振興をはかるための方策を見い出します。そして、それらを積み上げて町が総合推進方策としてまとめあわせて、意欲的に農業に取り組みようという者の育成確保をはかるという事業です。

- これは、地域の自主性を尊重するということから、その作成の方法や様式、内容に関してはなるべく規制しないで話し合いを進めていきます。
- ①小規模土地基盤整備事業
 - ②機械施設整備事業
 - ③営農集団活動促進事業
 - ④小作料一括前払い助成事業
 - ⑤特認事業

いこうとするものです。そして、その実情に応じて、当面の重要問題、たとえば営農に関する志向、土地利用の方法、担い手の育成、さらには農業公害の問題、あるいは補助融資事業の導入といったことを自主的に取り上げ検討されることが期待されます。

第二は農用地管理事業ですが、集落を単位とした農用地の有効利用や流動化の促進、農用地地域の拡大といった、農用地の有効利用に関する具体的な計画を作成する事業です。

この事業を進めるにあたっては集落内の全員の卒直な話し合いのなかで、独りよがりの勝手きままが排除され、全体的な合意として農用地の有効利用がはかれることが期待されます。したがって、最初から無理なことは避け、条件の成熟している部落实から推進して行きます。

実施期間は三年間で事業費は百五十六万六千円(補助率二分の一)となっています。

- 一、実施地区の要件
- ①農用地区域が受益の対象となること
 - ②農振整備計画等の目的達成に必要であること
 - ③実施地区内の相当面積の農用地が、おおむね三年以上にわたって農用地利用増進事業等によって継続して利用されることが確保できること
 - ④担い手の育成確保にぜひ必要であること

- 二、関係農業者が積極的な熱意を持って推進体制が整備されており農用地の有効利用との結びつきが必要であること
- 三、事業の実施主体
- 町、農協、土地改良区、農業者の組織する団体
- 四、その他
- 事業期間二年間。事業費は一地区当り平均八千万円(補助率二分の一)

牛は五年間無料で貸し、その間に一頭返してもらうことになっております。

町では今後、この老人パワーが優良肉牛を飼育して行く喜びとともに畜産振興のために導入牛の共進会を催して、いい牛をつつて自慢話をして合ってもらいたいと考えております。



上 須賀川市のせり市場で子牛を選ぶ高橋友義さん(右)と安藤留作さん(左)
下 牛クン、なかよくやろうぜ牛を借りた一人佐藤喜一さん



自分の牛持つ喜び 牛クンのむよ

高齢者生きがい対策事業としてことしから始めた肉用牛貸付は順

調に進み、二十頭の牛全部が希望者の手に渡りました。

牛は、町牧野組合副会長の高橋友義さんから関係者が県内各地のせり市に出向き、これぞと思うものを買って来たものです。

国見町農業祭

と き 11月12日～13日
と ころ 国見町農協会館

農産物品評会・農産物即売会試食会・もちつき大会・かかしコンクール・自動車農機具展示即売会(くわしいことは農協農産課まで)

住宅団地の分譲まぢか

詳細決定は十月末

国見町・福島地方土地開発公社が、住民の生活安定と町の発展をはかるためにすすめている住宅団地造成事業は、たぐいまれな急ピッチで工事が進んでおります。

総面積二・七一ヘクタールの中に、一般分譲予定区画八十程度、それに公園、舗装道路、水道などが完備されます。

一区画の面積は平均二百六十四平方メートル(約八十坪)で、一般公募により抽選で決められますが、その分譲要綱案ができましたのでお知らせします。

なお、最終的な決定は今月末に なりますのでご了承ください。

耕谷住宅団地分譲要綱案

申込み者の資格

- 1 日本に国籍を有する方
- 2 分譲代金を指定期日まで確実に納入できる方
- 3 現に同居または同居しようとする家族のある方
- 4 自ら住む住宅等を建てるために建設敷地に困っている方

5 自己名義の宅地を所有していない方

申込みの方法

- 1 申込み場所 国見町役場企画課
- 2 申込み用紙 前記申込み場所でお渡しします

3 受付期間

昭和52年11月1日から11月31日まで
(日曜、祭日、土曜の日は除く)

申込みに必要な書類

- 1 宅地分譲申込み書一通
- 2 住民票謄本(同居家族全部がわかるもの)

3 分譲代金を確実に支払うことができることを証する書面。(収入証明書、予金残高証明書など一通)

譲渡条件

1 分譲決定の土地は他人への転売は認めない

2 土地譲渡契約締結後、五年以内に住宅を建築し居住しなければならぬ

3 譲渡区画は一世帯一住宅地とする

譲渡人の決定

譲渡人の決定は抽選によって決める。なお、申込み者多数の場合

合は町内優先することもある。契約について

分譲予定者は、決定後二週間以内に譲渡契約を締結しなければならぬ。正当な理由なく前記期間内に契約締結しないときは、分譲決定を取り消すことがある。

分譲代金の納入方法

- 1 契約と同時に契約額の二分の一相当額を納入のこと
- 2 残りの代金は契約の日より二ヵ月以内に納入のこと

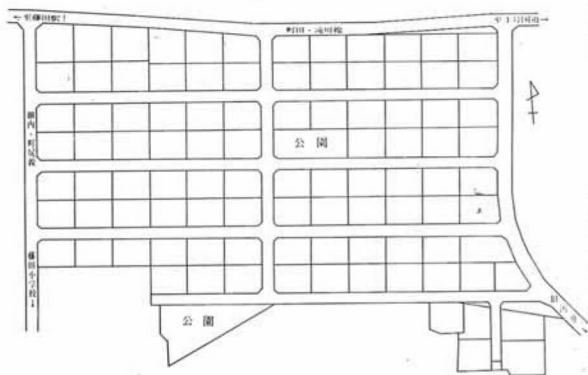
解約について

- 1 分譲決定の土地を他人に譲渡したとき
- 2 分譲契約代金を納期まで納付しないとき
- 3 申込み事由に故意に虚偽があったとき

分譲価格

工事完了時点で決定。(要綱決定次第「かいらん」でお知らせします) お問い合わせは企画課(☎2111有4175)まで。

区画予定平面図



氏名 部落(前住所)

津田 哲夫 第一

石黒美恵子 山形県飽海郡平田町

飯塚 務 貝田

高橋 弘子 貝田



カソプル誕生

東北中学校へ 二万円

藤田小学校へ 二万円

五万円

◎奥山勝太郎さん 三万円 (藤田字南21)

◎桂島タケさん(藤田字北74) 故幸一氏の遺志として

町社会福祉協議会へ

町社会福祉協議会へ

善意の窓

●検針日・見金日が11月から夏ります

・くわくは 忘れずに お知らせいたします。

東北電力

お知らせ



成人病検診

高血圧や、がん、心臓病などの成人病は「早期発見」「早期治療」が大切です。ことしはたいした病気にならなかったとしても、つぎの年にはどんな病気に会おうとも限りません。

成人病検診車による集団検診は気軽に、しかも費用は町が補助しますので安く受けることができます。内容は、胃レントゲン間接撮影、血圧測定、心電図検査の三つです。

- 検診日 十一月四日(金)
 - 十一月十二日(土)
 - 場所 町民福祉センター
 - 料金 千円
 - 締切 十月三十一日
- 申込み場所は役場保健課です。
(公2111有4165)

なお、詳しいことは申込み者に直接おしらせします。

献血で命の助けあい

移動採血車が来町

交通事故ノその時輸血用血液がなかったら……

移動採血車いずみ号が、来たる十一月十五日(火)来町します。人間いつ病気や事故ひあうかわりません。こんな時々に備えて健康な時に献血しておきましょう。

献血をしますと献血手帳が渡されます。手帳を持っていますと、あなた自身、家族、知人の方でも最優先的に輸血を受けることができます。

(日程)

- ▽国見町農協時、午前9時30分～10時まで
- ▽国見役場前、午前10時30分～正午まで
- ▽国見電子前、午後1時～3時まで

年末調整説明会のお知らせ

昭和五十二年もあと二カ月足らずで終ろうとしています。給与所得者については、本年一年間の税額を精算するため十二月に年末調整を行います。

町では、福島税務署の共催により、正しい年末調整が行われるよ

う次の日程で年末調整説明会を行うことになりました。

特に本年は諸控除の引上げなどがありますので、ぜひ説明会に参加されますようお願いいたします。

記

- ▽期日 十一月十八日(金)
- ▽時間 午後一時三十分より
- ▽場所 桑折町福祉センター
- ▽地域 桑折・伊達・国見町

第二回 狂犬病予防注射

(サービス)

十月十一、十二日に行われた狂犬病予防接種および畜犬登録を受けられなかった方のために、サービス日として再度実施いたします。この機会にもれなく受けられるようお願いします。

- ▽期日 十月三十日(日)
- ▽時間 午前九時半～十一時
- ▽場所 役場前
- ▽料金 金 八百日(春に登録を受けた方) 千円(犬は二百円加算し印鑑持参)

▽持参するもの
通知書

あなたの街です。自然です。
明の清掃ではあります。

Street Clean

日本専売公社

おめでとうございます

(九月中に届けられた方)

- | | | |
|-------|-----|------|
| 父(氏名) | 子の名 | (番地) |
| 徳江 博典 | ひろみ | 宮町南 |
| 佐藤 晴雄 | 美智子 | 石母田寮 |
| 佐藤 正二 | 智宏 | 山崎館 |
| 佐久間隆男 | 隆史 | 第二 |
| 菊地 武雄 | 秋穂 | 石母田寮 |
| 高橋 幸勝 | 幸恵 | 駅前 |
| 佐藤 仁友 | 晴宮 | 宮町北 |
| 仲野 周美 | 真奈美 | 泉田中 |
| 佐藤長太郎 | 梨恵 | 北部 |
| 本多 洋一 | 千穂 | 第七 |
| 松浦 元治 | 俊紀 | 築館 |
| 羽賀 宏次 | 夕香里 | 滝山 |

おきゃみ申しあげます

(九月中に届けられた方)

- | | | |
|-------|------|------|
| 氏名 | (番地) | (番地) |
| 佐藤 キサ | 74 | 宮町南 |
| 佐野 タミ | 85 | 第九 |
| 森 威郎 | 73 | 大町北 |
| 佐久間ヨイ | 52 | 内谷東 |

編集日記



○食欲の秋がやってきました。野菜やくだものに季節感はなくありませんが、道ばたでふと見かけるカキの色づき、町に出盛ってきたミカンの暖かひ色は、天然の恵みを感じずにはいられません。

○長い間お待ちさせた「国見町史」第一巻(通史編)がまもなく発行され、ことし中にはみなさまのお手元が届きます。他の市町村でも郷土史づくりに力を入れています。国見町史はよく充実した資料と内容は例がなく、全国でもハイレベルの町史と自負できます。これも町民ひとりひとりの協力があってこそと思います。以前に買っていた人はそのまま届きますが、新たにほしい人は、早めに部長さんの中に申し込んで下さい。

今月の納税

町民税 第三期
国保税